

令和8年8月6日
16時30分
西日本高速道路株式会社

お知らせ

第1回 南九州自動車道妙見第一橋復旧に関する検討委員会の開催状況について

本日開催した「南九州自動車道妙見第一橋復旧に関する検討委員会」の開催状況について、別添のとおりお知らせします。

- | | | |
|------------|---|-------------------------|
| 1. 日 | 時 | 令和8年8月6日（木） 13：30～15：40 |
| 2. 場 | 所 | ホテル大黒屋（熊本県八代市麦島西町 7-15） |
| 3. 議 事 次 第 | | 別紙1のとおり |
| 4. 委 員 | | 別紙2のとおり |
| 5. 委員会資料 | | 別紙3のとおり |

※結果概要については、後日お知らせします。

南九州自動車道 妙見第一橋復旧に関する検討委員会

第 1 回委員会

日時：令和 8 年 8 月 6 日（木）

13：30～15：55

場所： ホテル大黒屋

熊本県八代市麦島西町 7-15

議 事 次 第

- | | | |
|-----------------|-------------|--------|
| 1. 主催者挨拶 | 13：30～13：35 | |
| 2. 委員長挨拶 | 13：35～13：40 | |
| 3. 委員ならびに出席者の紹介 | 13：40～13：45 | |
| 4. 議事ならびに説明事項 | | |
| （1）被災状況説明 | 13：45～14：50 | （65 分） |
| （2）妙見第一橋の現地調査 | 15：05～15：40 | （35 分） |
| 5. 委員長所感 | 15：40～15：55 | （15 分） |

南九州自動車道妙見第一橋復旧に関する検討委員会 委員名簿

いしだ 石田	まさひろ 雅博	土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ長
うさみ 宇佐美	おさむ 惣	株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 橋梁研究担当部長
おかだ 岡田	たかお 太賀雄	国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長
なかむら 中村	しょうぞう 聖三	長崎大学 大学院工学研究科 システム科学部門 教授
○ まつだ 松田	たいじ 泰治	九州大学 名誉教授 熊本大学 名誉教授
まつむら 松村	まさひで 政秀	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授
みたに 三谷	やすひろ 泰浩	九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授

(○ 委員長)

(50音順、敬称略)

南九州自動車道 妙見第一橋復旧に関する検討委員会

第1回検討委員会

資料

2026年 8月 6日(木)

みち、ひと…未来へ。



地震概要

変位境界線

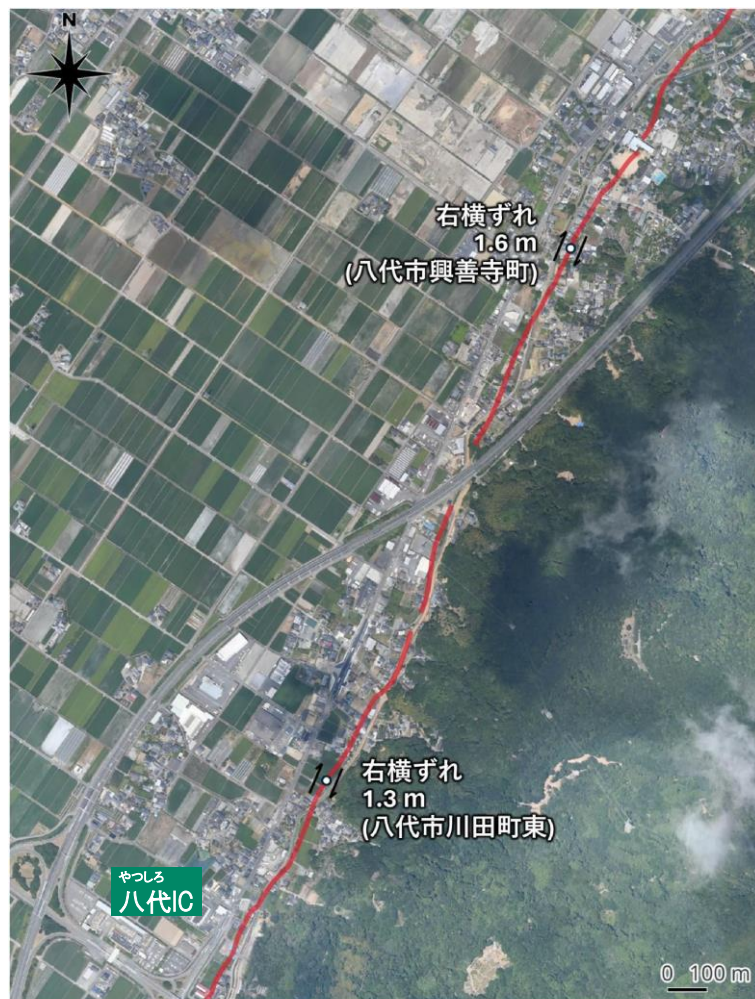


図 5 八代市興善寺町～川田町東付近の変位境界

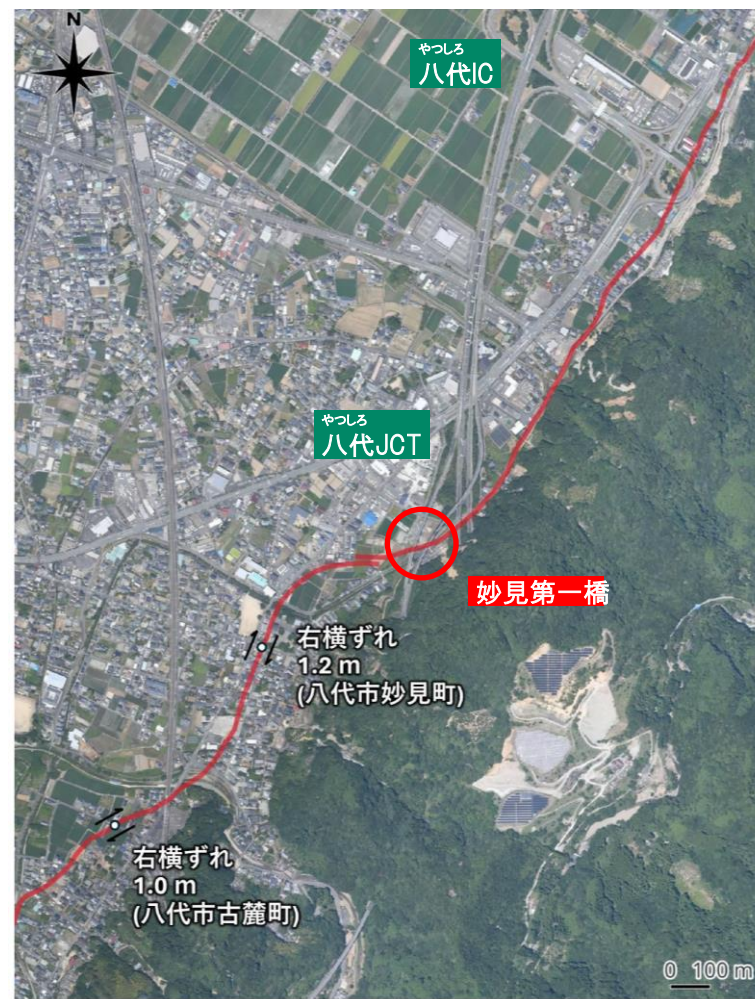


図 6 八代市川田町西～古麓町付近の変位境界

出典：国土地理院地理地殻活動研究センター「令和8年熊本地震前後の画像から判読された変位境界(速報)」より

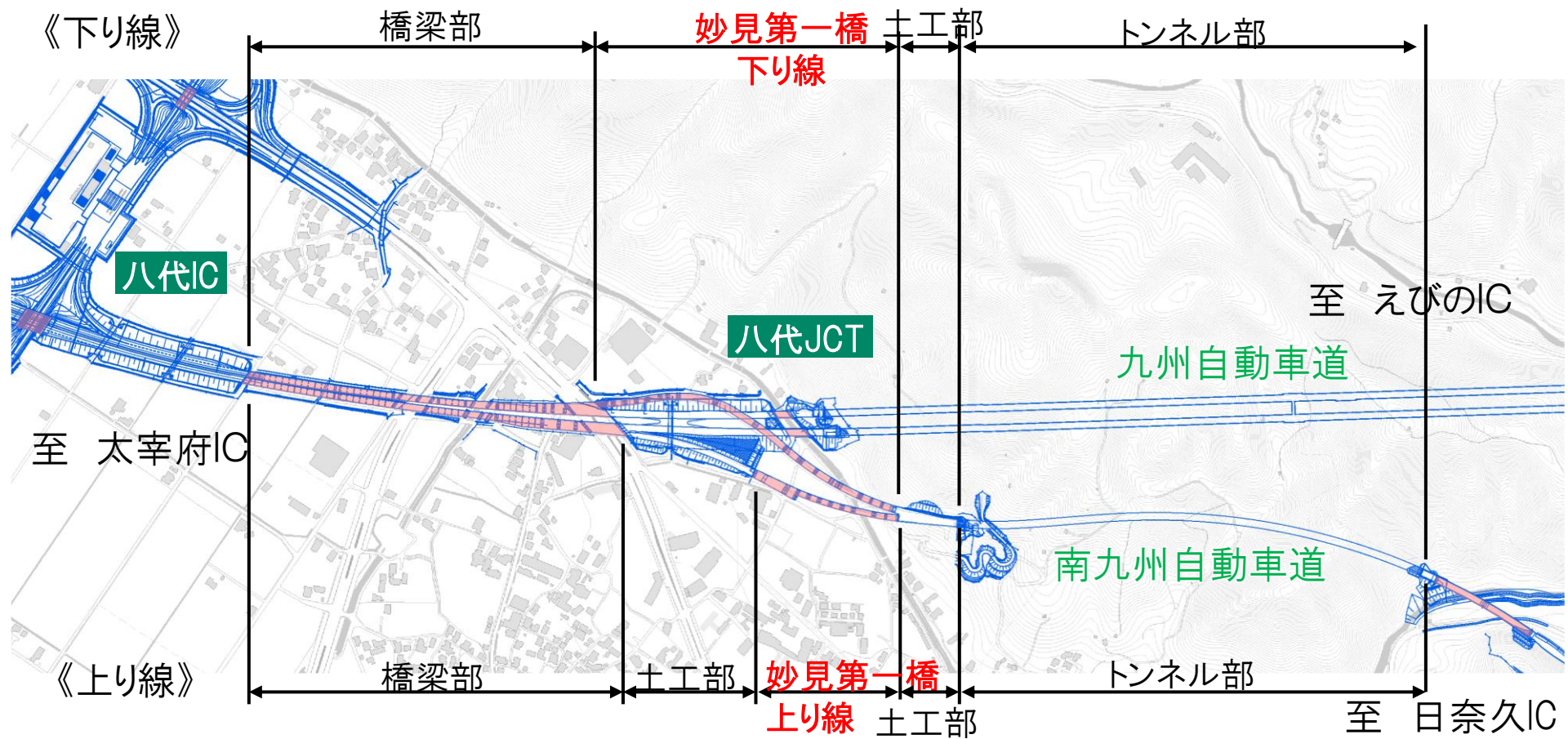


至：八代JCT

至：人吉

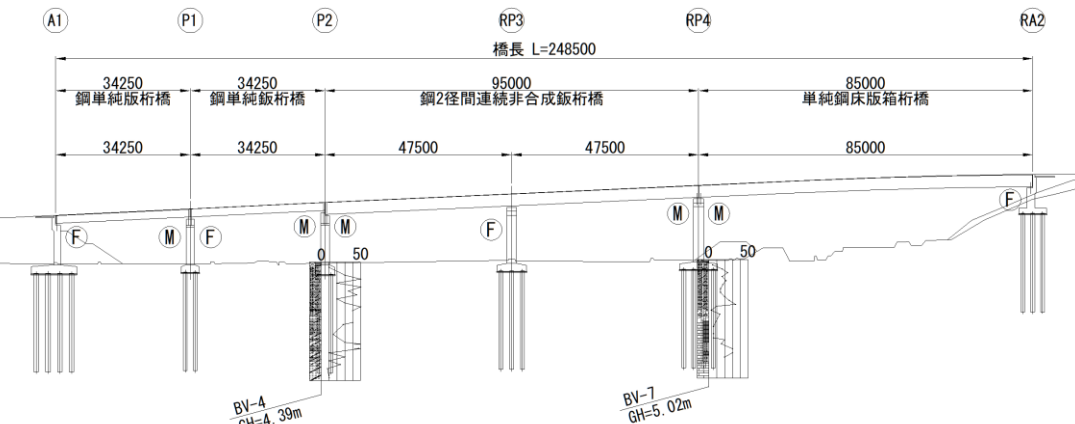
九州道 片野川橋

橋梁位置図

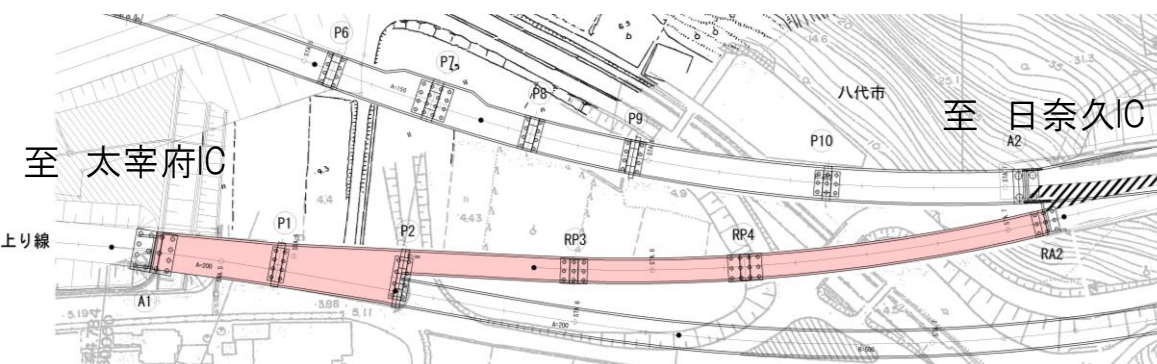


妙見第一橋(上り線) 橋梁概要

側面図



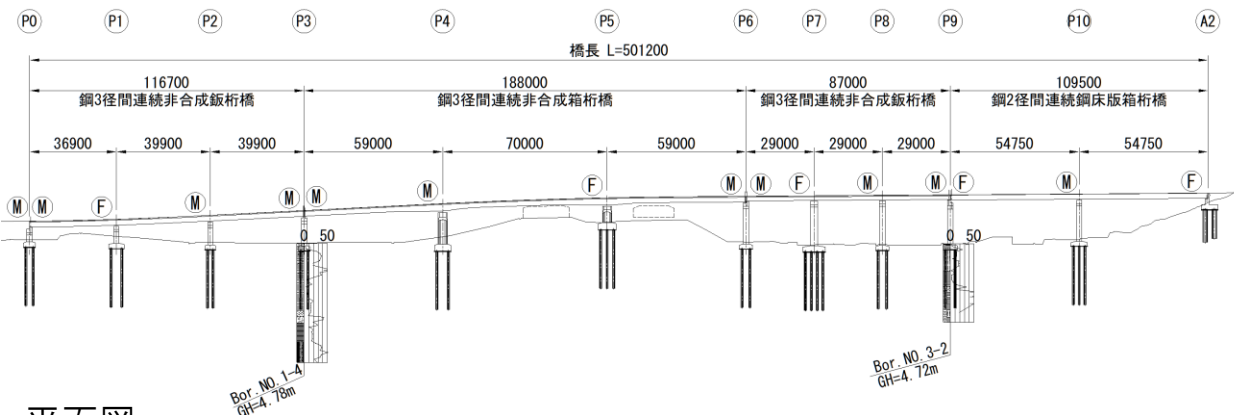
平面図



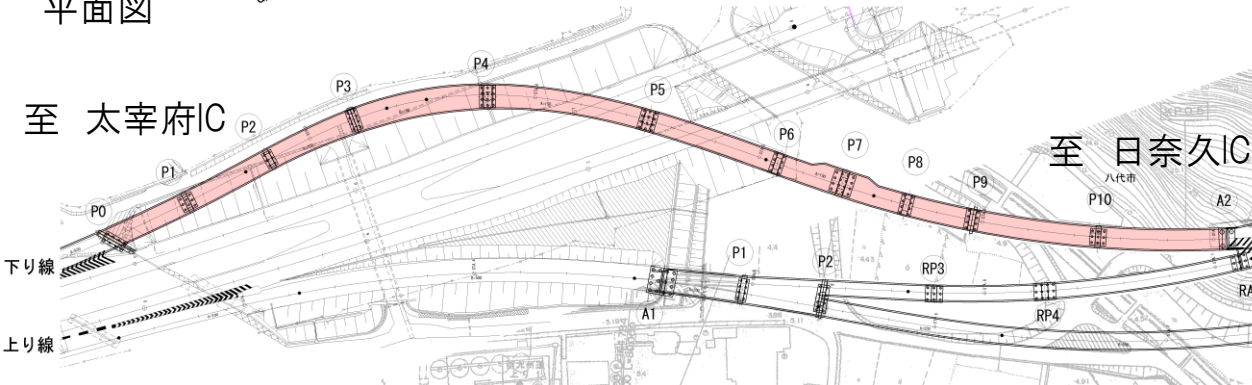
道路名	南九州自動車道(1998.4.20供用)
橋梁名	妙見第一橋
建設年次	1998年
設計年次(適用道示)	1995年 (平成6年 道路橋示方書)
上下線	上り線
橋長	248.5m
有効幅員	6.000m
上部工 形式	鋼単純非合成版桁 鋼2径間連続非合成版桁 鋼単純鋼床版箱桁
桁高	2,600mm
橋脚高	A1: 14.900m、P1: 13.500m P2: 15.000m、P3: 16.200m P4: 18.000m、A2: 10.000m
耐震補強状況	落橋防止構造 (突起、桁連結)

妙見第一橋(下り線) 橋梁概要

側面図



平面図

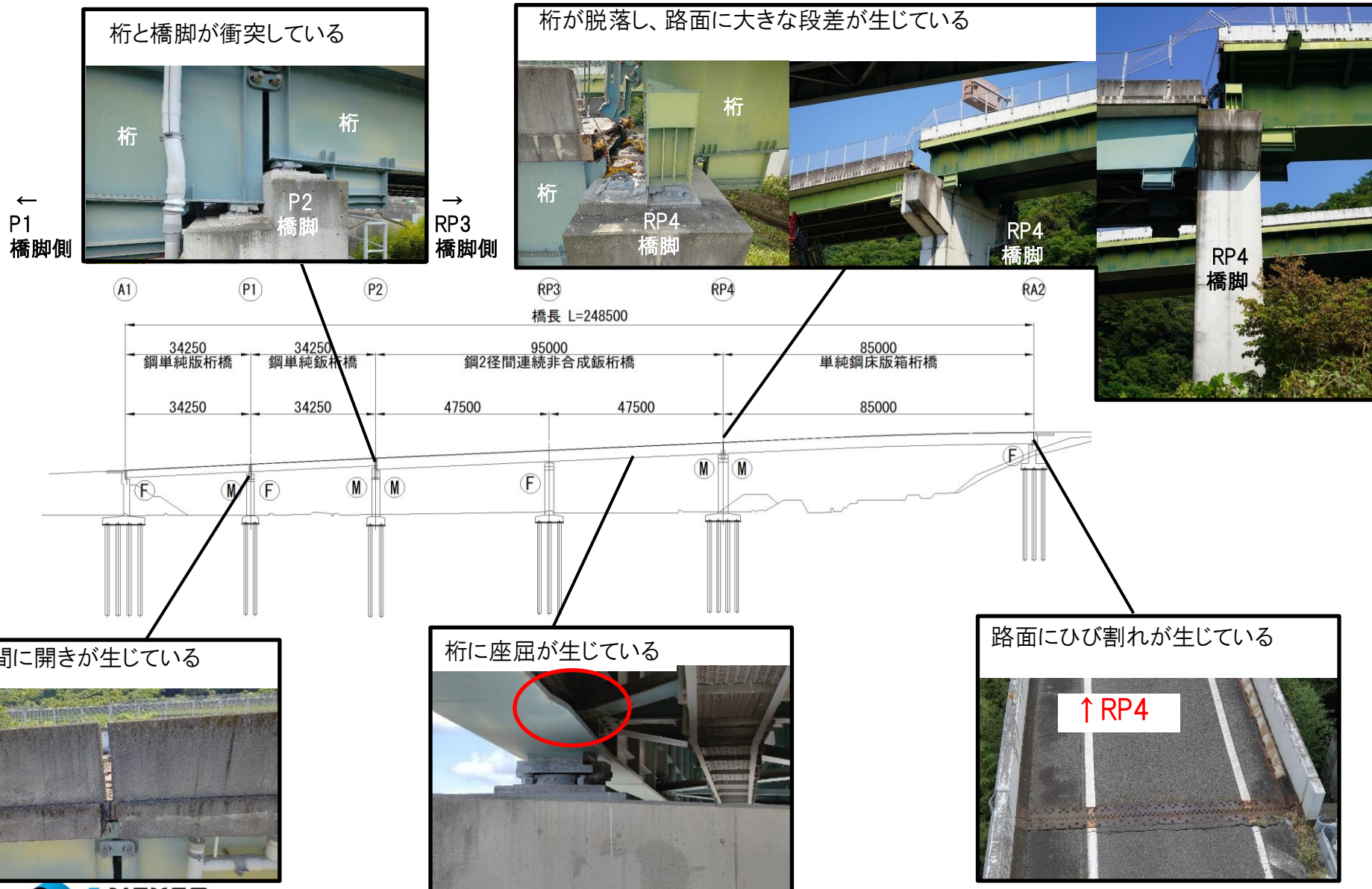


道路名	南九州自動車道(1998.4.20供用)
橋梁名	妙見第一橋
建設年次	1998年
設計年次 (適用道示)	1994年 (平成6年 道路橋示方書)
上下線	下り線
橋長	501.2m
有効幅員	8.500~10.054m
上部工 形式	鋼3径間連続非合成板桁 鋼2径間連続非合成床版箱桁
桁高	2,600mm
橋脚高	A1:8.300m、P1:9.500m P2:11.700m、P3:13.800m P4:16.300m、P5:10.000m P6:19.600m、P7:21.500m P8:21.100m、P9:21.148m P10:19.500m、A2:7.000m
耐震補強状況	落橋防止構造 (突起、桁連結)

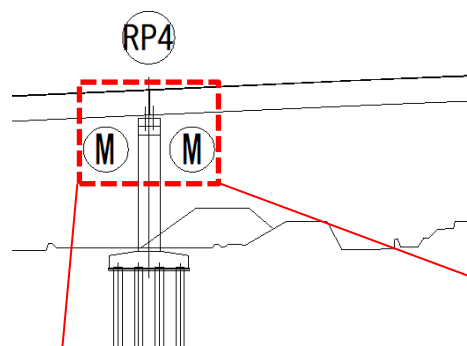
妙見第一橋の上空写真



妙見第一橋(上り線)損傷状況



落橋防止システムの損傷状況（上り線）



落橋防止システムとは、支承部の損傷又は上下部構造間の相対変位が生じて、上部構造が下部構造から逸脱し落下することを防止するため、必要な桁かかり長、落橋防止構造及び横変位拘束構造等を組み合わせるもの。



出典：Google Maps

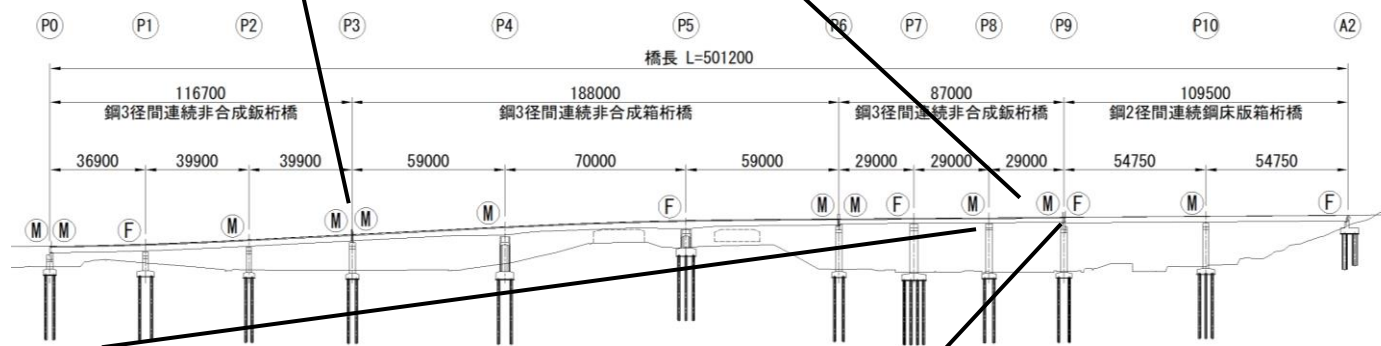


妙見第一橋(下り線)損傷状況

桁間の開きおよび支承の損傷が生じている



二次部材、ウェブがはらみだしている
コンクリートが剥離し、鉄筋が露出している



排水装置および支承に損傷が生じている



支承が損傷している

支保(P8側)

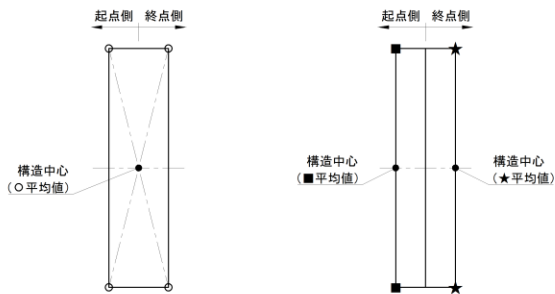


桁が脱落し、路面に大きな段差が生じている



令和8年熊本地震後の測量結果

各下部工の測量値について



〔中間橋脚：天端〕

中間橋脚は

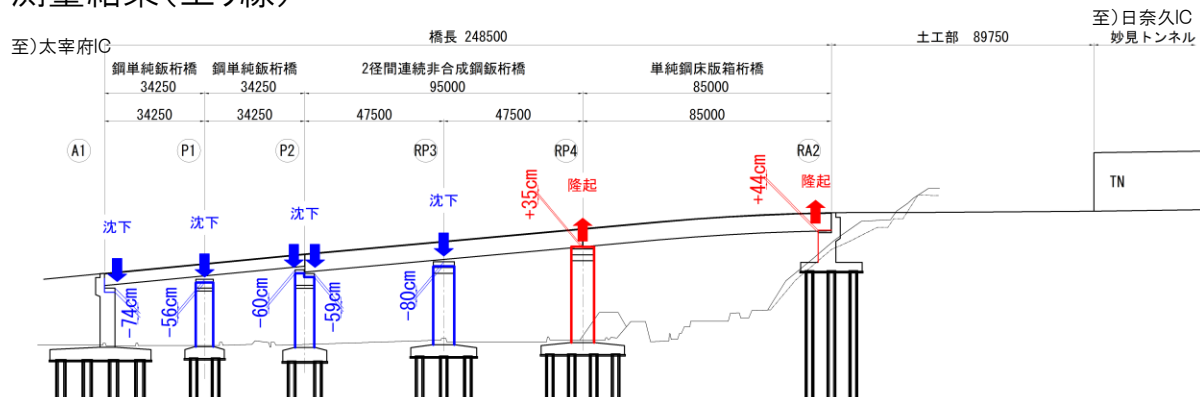
天端四隅の平均値を採用

〔掛け違い橋脚：天端〕

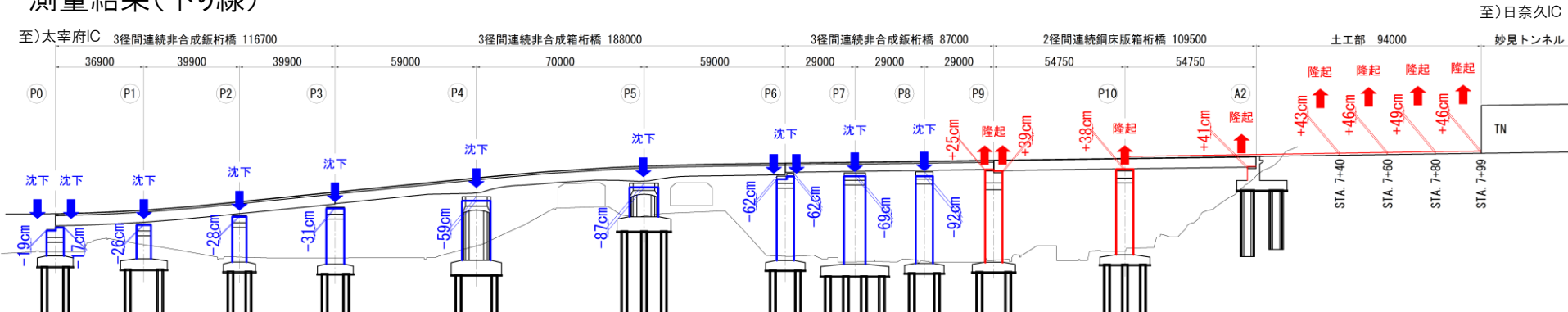
掛け違い橋脚は

起点側及び終点側の各々2点の平均値を採用

測量結果(上り線)



測量結果(下り線)

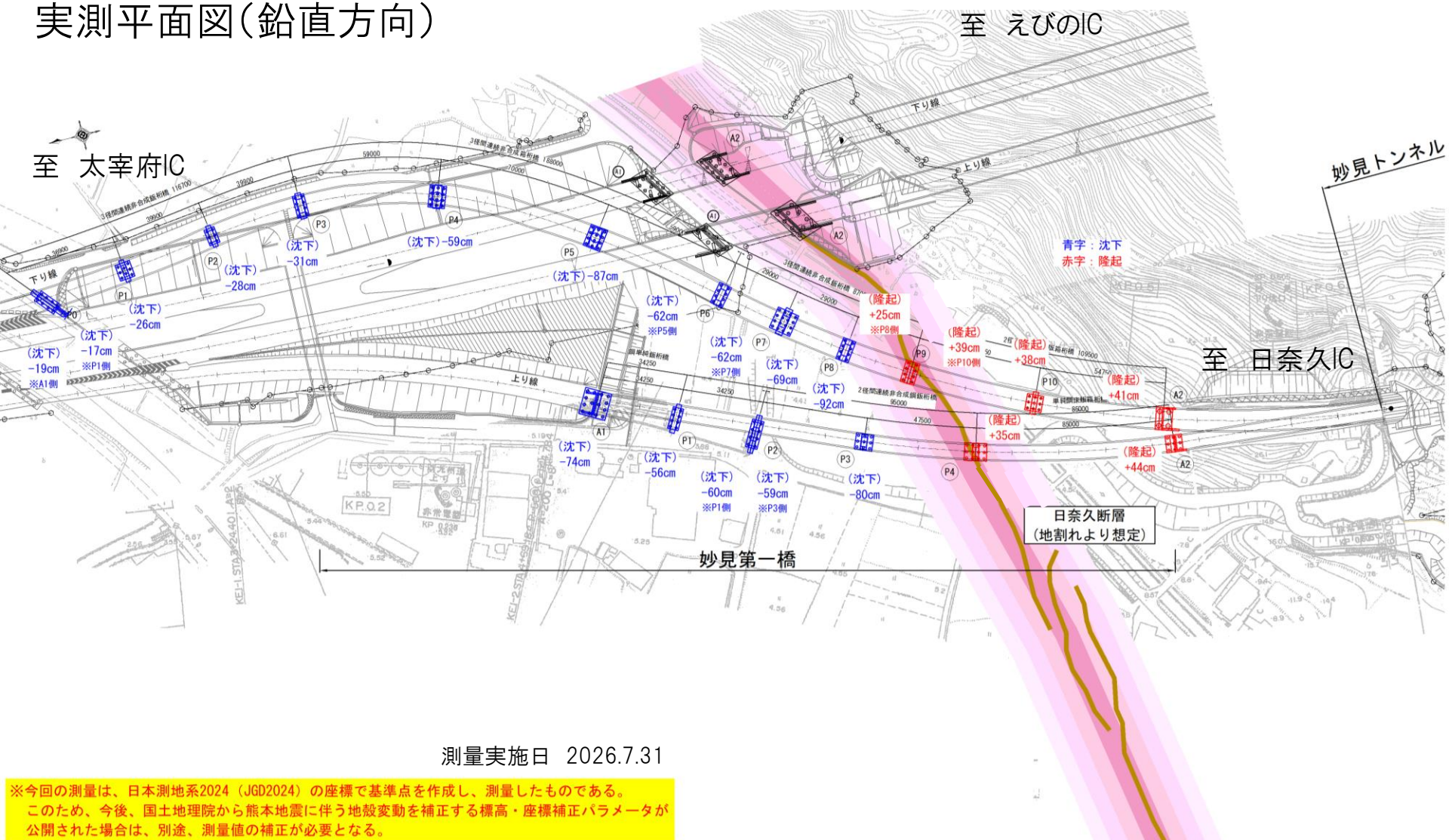


測量実施日 2026.7.31

※今回の測量は、日本測地系2024 (JGD2024) の座標で基準点を作成し、測量したものである。
このため、今後、国土地理院から熊本地震に伴う地殻変動を補正する標高・座標補正パラメータが公開された場合は、別途、測量値の補正が必要となる。

令和8年熊本地震後の測量結果

実測平面図(鉛直方向)

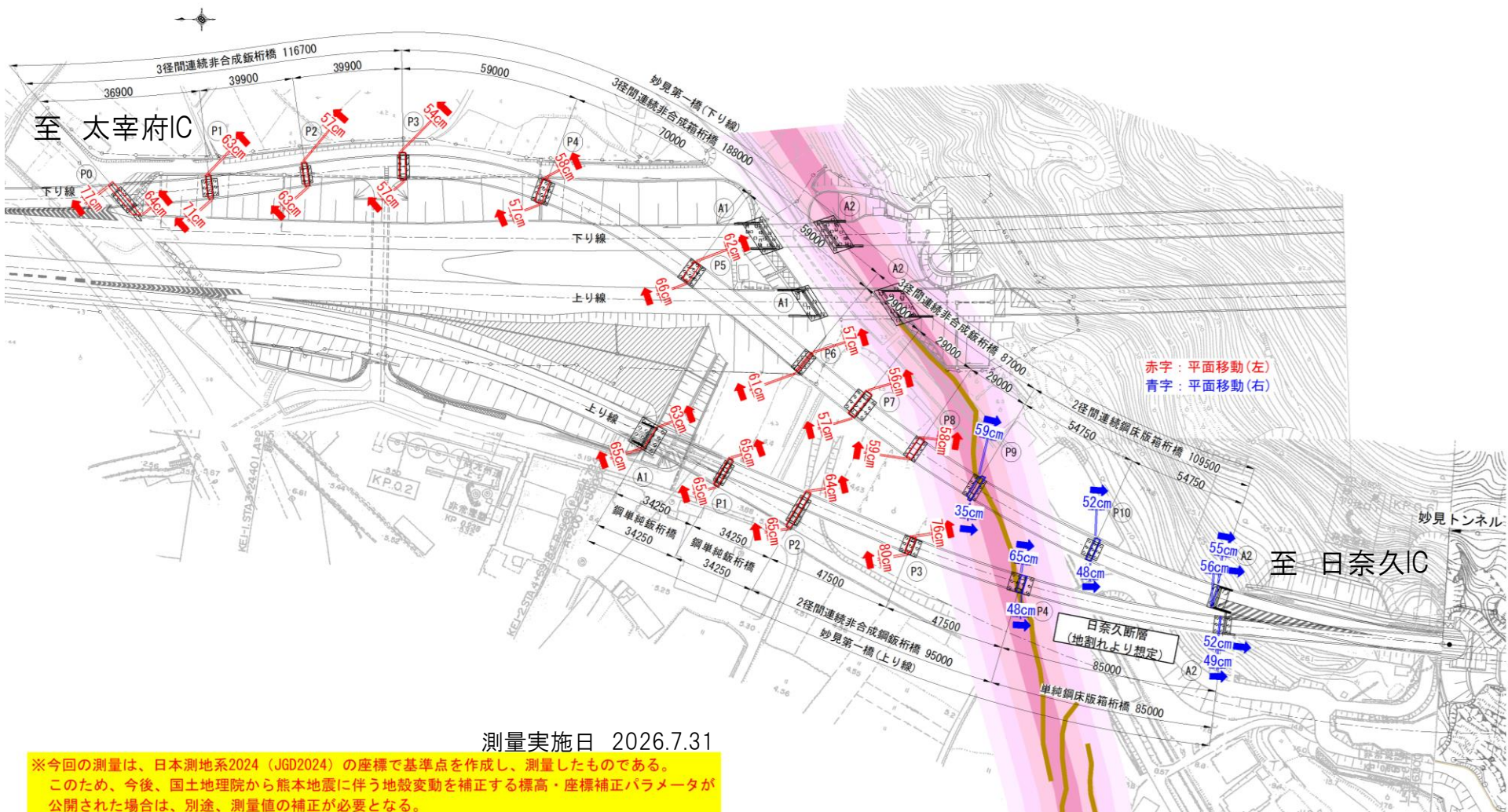


測量実施日 2026.7.31

※今回の測量は、日本測地系2024 (JGD2024) の座標で基準点を作成し、測量したものである。
このため、今後、国土地理院から熊本地震に伴う地殻変動を補正する標高・座標補正パラメータが公開された場合は、別途、測量値の補正が必要となる。

令和8年熊本地震後の測量結果

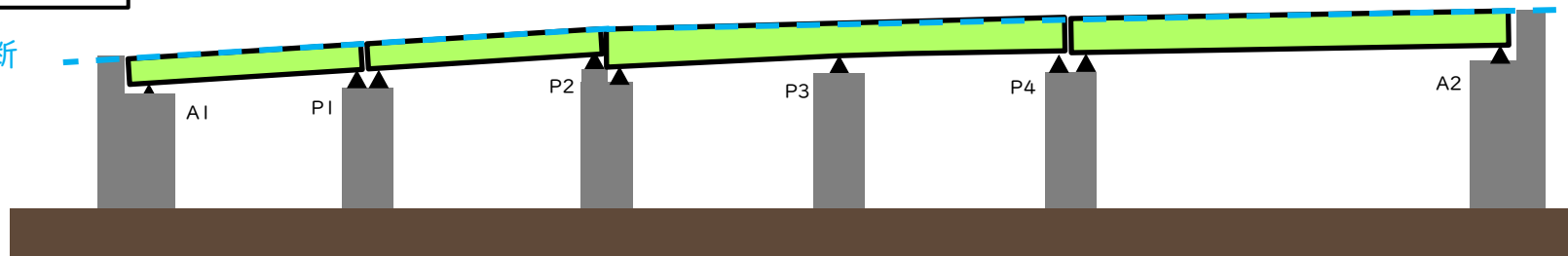
実測平面図(水平方向)



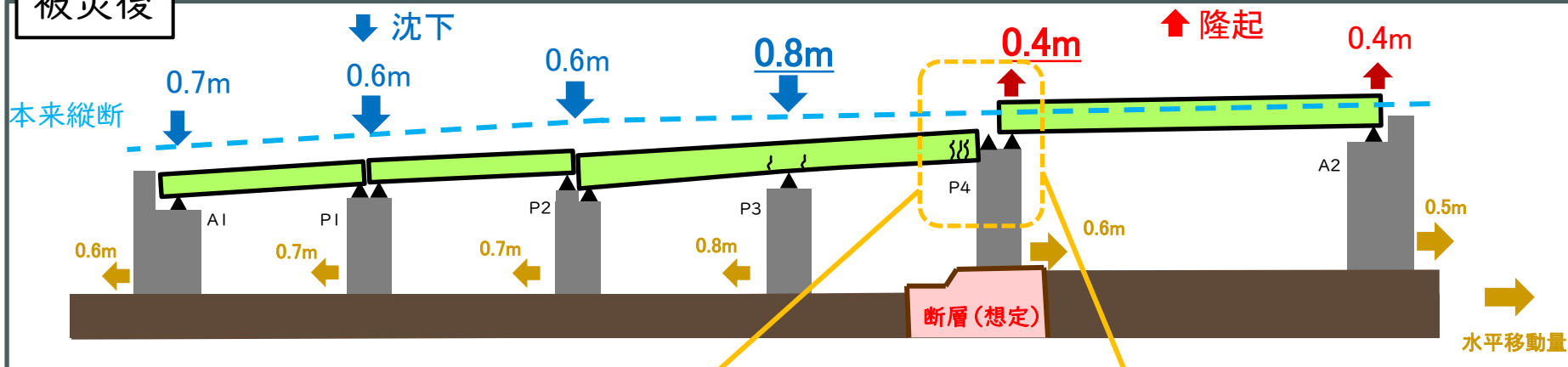
南九州自動車道 妙見第一橋(上り線)の損傷状況

被災前

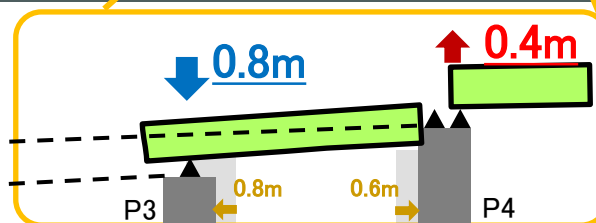
縦断



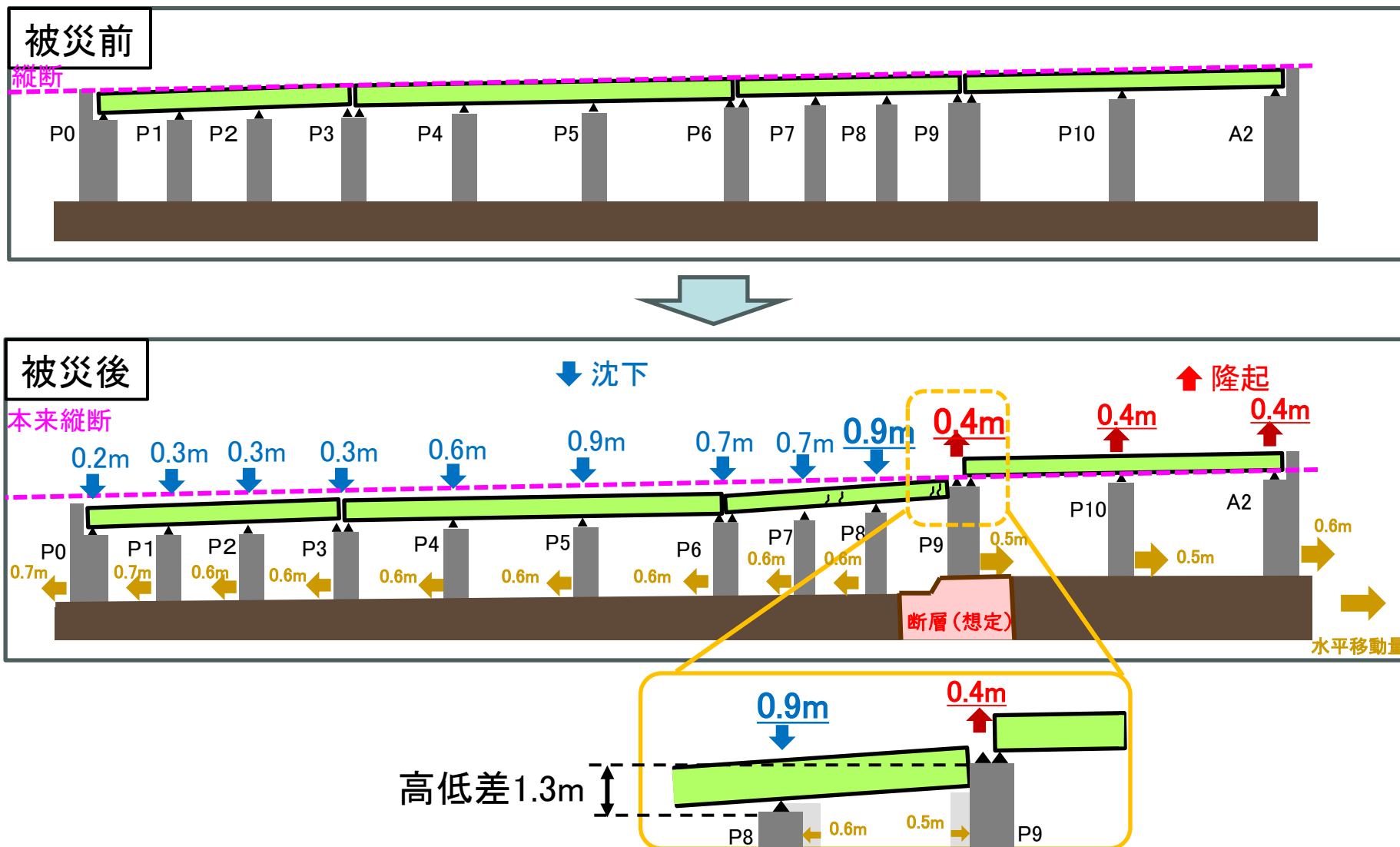
被災後



高低差1.2m



南九州自動車道 妙見第一橋(下り線)の損傷状況



南九州自動車道 妙見第一橋(下り線)の損傷状況

